

平成 26 (2014) 年度

# 事業報告

自 平成 26 (2014) 年 1 月 1 日  
至 平成 26 (2014) 年 12 月 31 日

一般財団法人 世界こども財団

当財団は、「さまざまな困難を抱えながらも、その将来を必死に切り拓こうと努めている子どもたちや青少年を支援し、かつあるべき共生社会の人材として自立できるよう、その健全な育成に寄与する」という目的達成のため、以下の4事業（9項目）を実施しました。

- I 被災地の子どもたちや青少年への支援事業
- II 子どもたちや青少年の教育・保健衛生・医療環境の向上のための支援事業
- III 子どもたちや青少年の国際相互理解の促進と健全な育成のための事業
- IV 子どもたちや青少年の自立支援事業

広報活動については、会報誌「FGC NEWS」の発行や、ホームページを2カ国語（日本語・英語）で整備する等により、充実を図りました。

上記4事業（9項目）の活動の主な内容は、以下の通りです。

## I 被災地の子どもたちや青少年への支援事業

### 1 方針

被災地である福島県相馬市・南相馬市の子どもたちや青少年の心身の健康を維持するためのカウンセリング、スポーツ交流、県外体験学習及び健康相談会を他の支援者とともに実施しました。

### 2 支援事業の概要

#### (1) カウンセリング

- ・被災地（福島県相馬市・南相馬市・新地町）の小中高校の児童・生徒、教員及び保護者等を対象としてPTSD予防のためのカウンセリングを実施しました。
- ・カウンセリングの概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
PTSD 予防のためのカウンセリング	福島県相馬市	小中学校の児童・生徒・教員・保護者	平成26年4月4日 ～12月19日
	福島県南相馬市	小中学校の児童・生徒・教員・保護者	平成26年4月11日 ～12月19日
	福島県相馬郡新地町	高校の生徒・保護者	平成26年5月14日
備考	<p>・【協働者（機関）】 学校法人国際学園、相馬市・南相馬市教育委員会、NPO 法人相馬フォローアップチーム、NPO 法人星槎教育研究所</p> <p>・【実績】 ・上記小中高校15校において実施し、対象となった延べ人数は児童・生徒643名、教員84名、保護者71名でした。</p> <p>・平成23年度より継続実施</p>		

#### (2) 健康相談

- ・被災地住民の原発事故による健康不安の払拭を狙いとして健康診断を実施しました。
- ・健康診断の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
健康相談（健康不安の払拭）	福島県相馬市	住民（周辺地区の仮設住民含む）	平成26年7月19日～24日
備考	<p>・【協働者（機関）】 相馬市保健センター、東京大学医科学研究所及びそのネットワークの医師団、学校法人国際学園</p> <p>【実績】</p> <p>・受診した住民は計565名</p> <p>・平成23年度より継続実施</p>		

### (3) スポーツ交流

- 被災地（福島県相馬市）の子どもたちを元気にするため、子どもサッカースクール及びサッカー指導者講習会を協働者とともに実施しました。
- スポーツ交流の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程等
・子どもサッカースクール ・サッカー指導講習会	福島県相馬市	■小中学校の児童・生徒 ■青年等	平成26年1月11日～12日
	福島県相馬市	同上	平成26年8月9日～10日 ※児童・生徒を星湘南大磯キャンパス（神奈川県）へ招待
	福島県相馬市	同上	平成26年9月20日～21日
備考	<p>・【協働者（機関）】 神奈川県サッカー協会、相馬市教育委員会、NPO法人ドリームサッカー相馬、学生ボランティア（東京大学、横浜国立大学、神奈川大学 など）、学校法人国際学園</p> <p>【実績】</p> <p>・参加した人数は1月が小中学生220名、指導者が20名、8月が小学生41名、指導者が20名、9月が小中学生163名、指導者20名でした。</p> <p>・平成23年度より継続実施</p>		

### (4) 県外体験学習

- 福島県相馬市の子どもたちと県外の地域の交流を図るため、北海道に夏・冬1週間程度招待し夏は農業、冬はスキーと年2回県外体験学習を協働者とともに実施しました。
- 県外体験学習の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
体験学習	福島県相馬市	小中学校の児童・生徒	平成26年8月4日～10日 ※自然観察、ものづくり体験
	福島県相馬市	小中学校の児童・生徒	平成26年12月23日～28日 ※スキー体験、雪上体験

備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【協働者（機関）】 学校法人国際学園、北海道芦別市、北海道帯広市</li> <li>【実績】</li> <li>・参加した人数は8月が小中学生39名、12月が小中学生40名でした、</li> <li>・平成24年度より継続実施</li> </ul>
-----	--

## Ⅱ 子どもたちや青少年の教育・保健衛生・医療環境の向上のための支援事業

### 1 方針

開発途上国であるミャンマーに対し、保健衛生及び医療環境向上のための支援を協働者とともに実施しました。

### 2 支援事業の概要

#### (1) 石鹸の寄贈（学校の保健衛生の向上）

- ・ミャンマー保健省が実施する「学校における健康向上（スクールヘルス）プログラム」に協力するため石鹸を寄贈しました。

#### ・石鹸寄贈の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
石鹸の寄贈 (約1万5千個)	ミャンマー（保健省）	ミャンマーの学校の児童・生徒	平成26年8月
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【協働者（機関）】 学校法人国際学園・(株)サラヤ</li> </ul>		

#### (2) 救急車等の寄贈（遠隔地の医療環境の向上）

- ・ミャンマーの農村部等、遠隔地の医療環境向上のために前年度（平成25年度）寄贈を約した救急車及び無線機器が現地に到着したのに伴い、通関・搬入等を支援しました。

#### ・救急車等寄贈の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
救急車の寄贈	ミャンマー（保健省）	農村部等遠隔地の人々	平成26年6月
無線機器の寄贈	ミャンマー（通信情報技術省）	同 上	平成26年6月
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【協働者（機関）】 学校法人国際学園、一般社団法人日本外交協会、一般社団法人ミャンマー協会、(株)ファム</li> </ul>		

### Ⅲ 子どもたちや青少年の国際相互理解の促進と健全な育成のための支援事業

#### 1 方針

国際相互理解の促進を図るため、開発途上国であるミャンマー・ブータンの子どもたちの留学の受入れを協働者とともに実施しました。

#### 2 支援事業の概要

##### (1) ブータンの子どもたちの短期留学の受入れ

- ・ブータンの子どもたち（高校生）のスポーツ留学受入れを協働者とともに継続実施しました（平成26年3月に卒業し帰国）。
- ・スポーツ留学受入の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
留学の受入れ (サッカー留学)	ブータン (教育省)	ブータンの高校生 (2名)	平成24年7月～平成26年3月
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【受入れ校】 星槎学園湘南高校</li> <li>・【協働者 (機関)】 星槎学園、学校法人国際学園、ブータン教育省、NPO 法人新制作座</li> </ul>		

##### (2) ミャンマーの子どもたちの短期留学受入れ

- ・ミャンマーの子どもたち（高校生・大学生）の短期留学受入れを協働者とともに実施しました。
- ・短期留学受入れの概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	支援日程
短期留学	ミャンマー	ミャンマー国立工科高校生5名+引率教員1名	平成26年1月17日～29日
短期留学 (企業見学)	ミャンマー	ミャンマー国立工学系大学生3名+講師2名	平成26年11月30日～12月14日
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>■短期留学 <ul style="list-style-type: none"> <li>・【受入れ校】 神奈川県立平塚工科高校</li> <li>・【協働者 (機関)】 星槎学園、学校法人国際学園、在日ミャンマー日本大使館、一般社団法人日本ミャンマー協会、(株)日本放送等</li> </ul> </li> <li>■短期留学 (企業見学) <ul style="list-style-type: none"> <li>・【協働者 (機関)】 星槎学園、学校法人国際学園、在日ミャンマー日本大使館、一般社団法人日本ミャンマー協会、(株)明輝、東京電力(株)、医療法人社団 KNI 北原国際病院等</li> </ul> </li> </ul>		

## IV 子どもたちや青少年の自立支援事業

### 1 方針

開発途上国であるミャンマーの子どもたちの自立を支援するため、ミャンマー国内孤児院に対し寄附を協働者とともに実施しました。

### 2 支援事業の概要

#### (1) ミャンマー国内孤児院への寄附

##### ・寄附の概要

支援内容	支援対象地区	支援対象者	備考
寄 附	ミャンマー国内孤児院	ミャンマー孤児院の子どもたち	平成26年3月に2,000米ドル寄贈
備 考	・【協働者（機関）】 ミャンマー保健省、大磯ロータリークラブ		